

第5回臨時議会開催される(9月17日)

一般会計補正予算(第6号) 補正額1億1,337万円を可決 累計215億8,492万円に

9月17日に第5回臨時会が開催され、令和2年度にコロナ禍により減収となった事業者を支援する、仙北市経営維持支援金給付事業などを盛り込んだ令和3年度一般会計補正予算(第6号)が審議され、賛成多数で可決されました。また、県議会議員の補欠選挙に立候補する高橋豪議員と田口寿宜議員から辞職願が提出され、本会議で許可されました。

第5回臨時会における一般会計補正予算(第6号)の内容

秋田県議会議員補欠選挙費	1,523万円	10/1 告示、10/10 投開票の県議会議員補欠選挙費用
仙北市経営維持支援金給付事業費	1億257万円	20年度の売上が18年度より20%以上減少の事業者に10万円給付
仙北市学校給食応援事業費	443万円	小・中学校の給食費を11/30まで無料にする費用

- ◆仙北市経営維持支援金給付事業は、2020年度(昨年度)の売り上げが2018年度と比較して、20%以上減少した市内事業者に支援金として10万円支給します。業種は問いません。(但し、農家は青色申告者が対象です。)
- ◆小・中学校の給食費無料については、6月補正予算で、7月から10月まで無料にしましたが、コロナ感染防止対策で休校した学校があったことから、1ヶ月間、無料期間を延長しました。
- 議員から、経営維持支援金について、コロナの影響による、今年度の生産者米価の大幅な下落に対する農家の支援を検討しているのかとの質疑があり、当局から、国、県の動向も見て検討したいとの答弁がありました。

高橋豪議員、田口寿宜議員の辞職に伴う常任委員会の異動

【議会運営委員会】 委員長 小木田 隆 副委員長 真崎 寿浩 委員 武藤 義彦
【総務文教常任委員会】 委員長 高橋 輝彦 副委員長 武藤 義彦

いきいき広場

この人に聞く
清水洋衛さん

市民福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種推進室長に聞く

新型コロナウイルス緊急事態宣言が21都道府県に発令中で、生保内小・中学校、角館小学校が休校となっている。(9月7日現在)市内の感染者は、推定で約50名となり、今後の感染拡大が懸念される。その中で、感染拡大の切り札となるワクチン接種の進捗状況と今後の対策について、新型コロナウイルスワクチン接種推進室長の清水洋衛さんにお聞きした。

ワクチンは第4クール(集団接種最終)まで確保しており、10月30日に終える予定である。接種状況は、65歳以上の方の88%が終了しており、12歳以上の全市民の8割が終える。

接種後の副反応では会場内で倒れた方が今まで2〜3名。痛みが残った、熱が上がったといった方が多かった。迅速に対応した。

推進室スタッフは23名でインターネット予約に4名の計27名である。

一般的には6割接種されれば集団免疫効果が表れるとされており、今後も収束に向けて、医師・看護師・医療スタッフと連携して頑張っていきたい。デルタ株による感染拡大も予測されるので、油断せず、マスク・三密・手指消毒の励行をして、ウイルスを抑え込んでいければと考えている。

【取材後記】

ワクチン接種に、真剣に取り組んでいる姿勢を伺う事が出来た。無事故で終了し、一日も早い日常活動の再開と観光・経済活動の賑わいを取戻して頂きたいことを願うものである。

(熊谷一夫記)



■ワクチン接種会場
(角館交流センター)

編集後記

市長の4期目の不出馬宣言下での8月定例議会。一般質問は、これまで門脇市政12年間の評価や、やり残した点など、次につながる内容が多かったように思います。答弁によつては、質問者から、「まだまだやる気があるのでは」と笑みを誘うような場面もありました。門脇市長の行政の連続性を根幹に据えた税の問題への対応、予期せぬ自然災害、人身事故等への対応が印象深く残っています。

一つの駒が動くことにより、いくつもの駒が動くことを目の当たりにした昨今、議会の議員構成にも変化が生じます。「目線はどこに」。主人公は誰か。の問いかけを忘れず、これからも精進したいと思えます。次期定例議会の光景は、未知ですが、仙北市の更なる発展に議論を深めたい思いは共通していると確信します。

(平岡裕子記)